

## 今日の夕飯は地元で捕れた旬の魚

### ～登別海鮮直市～

4月12日(日)、今年で4年目を迎える登別海鮮直市(登別まちづくり促進期成会主催)が登別駅前でスタートしました。

この催しは、登別・白老(虎杖浜)地域マリンビジョンの具現化に向けた取り組みの一環で、登別漁港産水産物の直売によるPRや地産地消の拡大、また、都市と漁村の交流による地域の活性化を目指したまちづくりイベントとして行われています。

この日は、登別漁港で捕れた旬のエビやツブを中心に、高級魚マツカワガレイやイシガレイ、マダラ、タコなどを格安で販売。市内や近隣市町から販売開始を待ちわびた約100人が列を成し、開始40分で完売しました。購入者は「地元で新鮮な魚が格安で手に入るの、毎年楽しみにしています」と笑顔で答えてくれました。

登別海鮮直市は、『登別漁港市直鮮』と書かれたのぼりを立てて、10月までの日曜日の10時からしけの日を除いて毎週行われます。



## 皆さんの声を行政に届けます

### ～一日行政相談～



4月15日(水)、登別郵便局(JR幌別駅西口前)で行政相談委員による『一日行政相談』が行われました。

この行政相談は、国や特殊法人(公団・事業団・銀行・公庫)、北海道、市の業務に関する苦情や意見、要望を受け付け、公正・中立の立場から関係行政機関などに必要なあっせんを行い、その解決や実現の促進、行政の制度・運営の改善を図るため、偶数月に行われています。

相談を受ける行政相談委員は、総務大臣から委嘱を受け、皆さんからの相談を自宅や定例相談所などで気軽に応じています。相談は無料で、秘密は固く守られます。

市内には、前川博さん(☎☎2360)と垣内登紀子さん(☎☎7245)の2人が行政相談委員として配置されています。

## 元気で丈夫に育つように

### ～大空を泳ぐこいのぼりと五月人形展～

4月2日(木)から、郷土資料館で黒や赤、青などの色とりどりのこいのぼり約70匹が掲げられ、春風を受けながら気持ちよく泳いでいます。

このこいのぼりは、市民から寄贈を受けたものが中心。5月5日のこどもの日を前に、郷土資料館ボランティアグループSLGの協力を得て、毎年この時期に掲げられています。

また、4月1日(水)からは、郷土資料館内で昭和初期製作のものをはじめ、市民から寄贈された10セットの五月人形なども展示されています。見学に訪れた方は、製作年代の違うさまざまな五月人形に興味深く、また、懐かしそうに見比べていました。

なお、同館では、子どもの日にちなみ、5月5日(火)まで、小・中学生の入館料を無料にしています。

